

四街道市議会議員

成田よしのり

32才



安心できる街づくりに向けて

～独自の放射線量調査～

前号では被災地でのボランティア活動を主に報告しましたが、四街道市内においても放射能に関して大変不安に感じている方が少なくありません。報道等に出される情報が二転三転し、何を信じたらよいのかという状況でもあったと記憶しています。そこで、当時市内の放射線量に関する情報がありませんでしたので、放射線量測定器(ガイガーカウンター)を購入し、ホームページでその数値をお知らせしました。また、ご依頼のあった場所の測定をしておりました。その後、市でも測定を開始し、逐次公表をしていただく事が可能となりました。場所や高さによって数値は異なりましたが、私の測定結果としては、四街道市内では、1時間あたり0.08～0.15マイクロシーベルトとなりました。これは日本分析センター(千葉市山王町)とほぼ同様の数値でした。



表1 放射能濃度測定結果

| 対象試料 | 核種 | 放射能濃度(Bq/kg) |
|---------------|--------|--------------|
| さつき保育園庭 土壌 | I-131 | 検出せず |
| | Cs-134 | 380 |
| | Cs-136 | 検出せず |
| | Cs-137 | 420 |

注) 表中の放射能濃度は、試料採取日時に半減期補正した値(検出下限値: <10Bq/kg)

調査機関: 日立協和エンジニアリング(株)

土壌について、特に保育所、小中学校等での心配をされている方も少なくないと思います。ほとんどの土壌については国の基準がなく、福島県以外については、四街道市も含め、地表の放射線量の測定でのみ対応をしています。そこで、土壌に関わる調査を市単独ではなく、国として対応してもらうためにも、国に基準の策定や対策を要望していこうと思います。様々な場所での分析を実施したかったのですが、さつき保育園の園長先生のご理解を頂き、(子どもの

ために是非とも快諾してくれました)園庭土壌を分析したところ、いずれも1kgあたりの数値、ヨウ素は検出されず(水素爆発から時間が経過した事が考えられます)、セシウム134が380ベクレル、セシウム136は不検出、セシウム137が420ベクレルの数値が確認されました。

(現状土壌に関する基準は、水田のみ設けられておりまして、土壌1kgあたり5000ベクレルとの暫定基準が示されています: 農林水産省平成23年4月8日発表)

市内の地震による被害: 市内でも屋根瓦の損壊や、ブロック塀の損壊等の被害があります。現在114件(6月25日現在)の、り災証明が発行されていますが、確定申告時や保険の適用等で必要な書類ですので、地震により被害を被った方は、市役所へお問い合わせいただけたらと思います。

議会報告: 6月定例会における質問から、以下の事が確認されましたのでご報告します。

- 1、行政防災無線が聞こえにくいという事について、市でも認識し、対応を考える。
- 2、コミュニティFMについて、必要性や市内での気運が高まれば、導入について検討する。
- 3、備蓄品について、要援護者(高齢者や子ども、障がいのある方等)と共に、アレルギーをお持ちの方への備蓄を更に充実させる。
- 4、市内の災害に備えるという観点や物流面から、インフラの整備を充実させる。
- 5、BCP(業務継続計画)の策定を早急に行い、災害やインフルエンザ等の感染症に対応できる組織体制を構築する。
- 6、将来にわたり安心できる街づくりの展望を図るため、財政運営についてより精査する。